

『空』をかんじる住処

敷地南側に建っている建物の形状に左右されない位置に大空を楽しめる空間と開口部を設け、暮らしにオアシスをもたらします。
是非、この空間を実際に体験して欲しいです。

なお、今回は次の5つのテーマに沿って計画を進めました。

1. 駐車場の上にバルコニーを設けて敷地いっぱいに広がるLDKを実現
2. 友人が集う明るく開放的な空間づくり
3. フラワーアレンジメントが映える空間づくり
4. 出し入れしやすい収納スペースの確保
5. 家族構成の変化にいつでも柔軟に対応できるレイアウト

※アフター面について

私の事務所兼自宅から建主様の現在のご自宅、計画地とも2km圏内(自転車10分、徒歩で25分)にあり、密度の濃い現場監理と引き渡し後の定期検査やアフターケアが可能です。

また、大学院卒業後、山本・堀アーキテクトの山本氏と堀氏が私に身につけてくれたことを決して無駄にはしない決意で、住処の設計監理に取り組んで参ります。

3. フラワーアレンジメントが映える空間づくり

フラワーアレンジメントの花々が映えるように、余分なもののないシンプルな空間づくりを心掛け、主張の強い材料は使わないよう計画します。



2階LDK

1. 駐車場の上にバルコニーを設けて敷地いっぱいに広がるLDKを実現
敷地南側に設けた立体的なバルコニーは自然の光と風を建物へと導くとともに、窓から見える風景を快適なものにしてくれます。そして、バルコニーを室内空間の一部として取り込むことで数字以上の広がりや開放感を得ることができます。



上空からの建物全景

2. 友人が集う明るく開放的な空間づくり

友人が集う仕切りのない明るく開放的なLDKをつくります。
バルコニーの扉を開放すると食堂とひとつながりになり、ティータイムを楽しめて生活を豊かにしてくれる空間が生まれます。

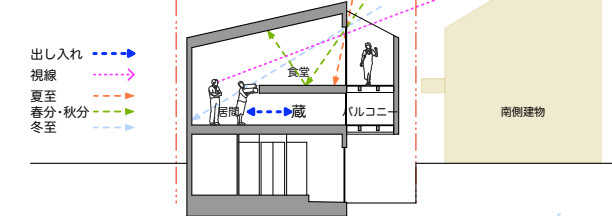


2階LDK

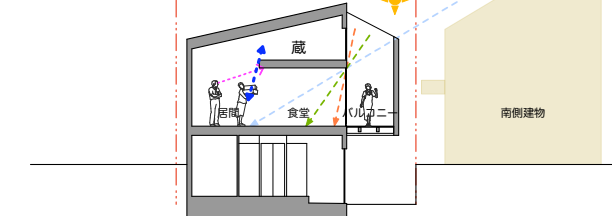
4. 出し入れしやすい収納スペースの確保

重い荷物でも水平移動で出し入れしやすい「蔵」を居間と同じ床レベルに設けています。そして、蔵の位置を工夫したことで部屋の奥まで自然の光が射し込み、外への視線の抜けも確保できるメリットが生まれました。

○採用案-蔵を居間と同じ床レベルに設けた場合
荷物の出し入れがやすく、明るい開放的な空間になります。



○比較案-蔵を小屋裏レベルに設けた場合
上図に比べ光を取り込めず、視線の抜けもありません。



5. 家族構成の変化にいつでも柔軟に対応できるレイアウト

子供室と呼ばれる部屋にいつまでもお子様がいるわけではありません。
なので、1階はある時点だけに限定した間取りにせず、家族構成の変化に柔軟に対応できるプランにしました。

○幼少期、子供室で家族揃って就寝し、親子で一緒に勉強をする場合



○お子様が増えたら仕切って2室にして子供室の収納はベッドの下を立体的に利用

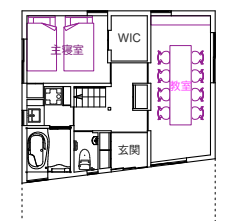


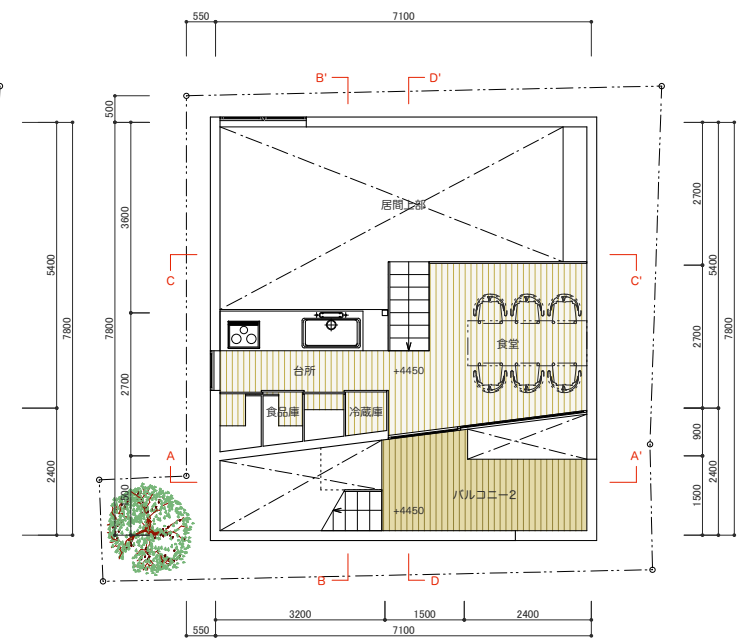
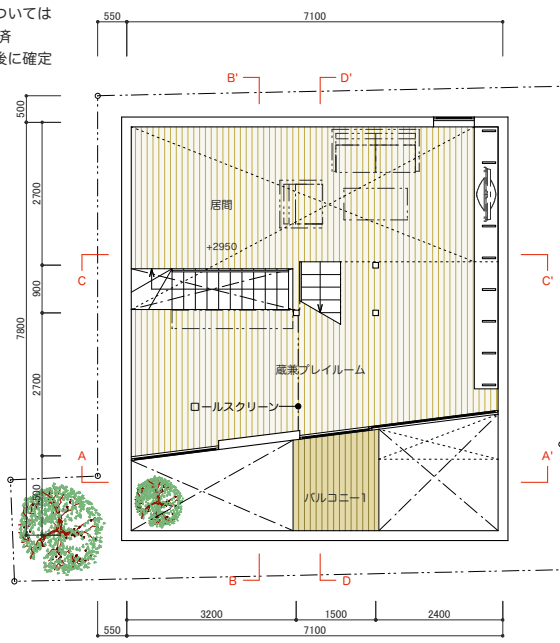
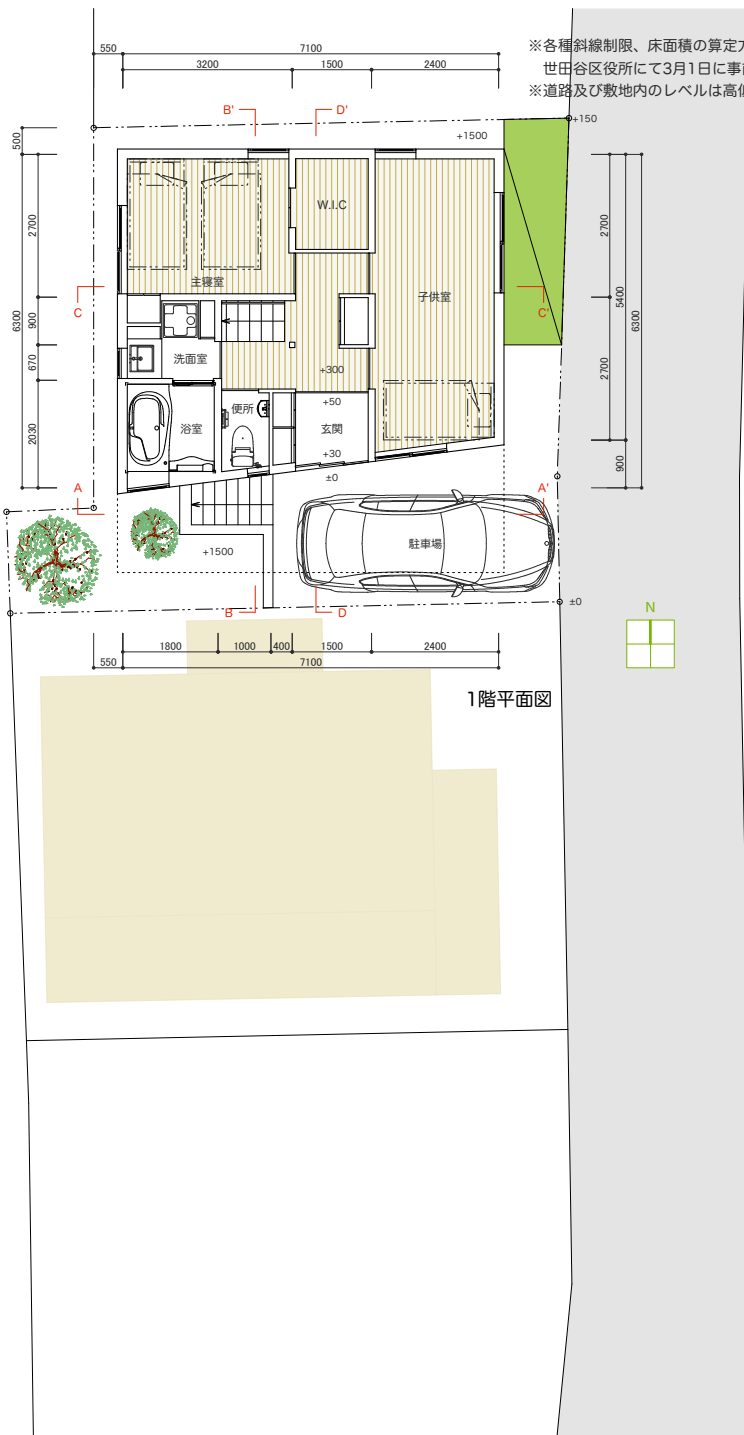
ベッドの下に高さ1m程度の納戸を設けます。

○定年退職後、主寝室を広げて夫婦別室にし、各自の時間を過ごす場合



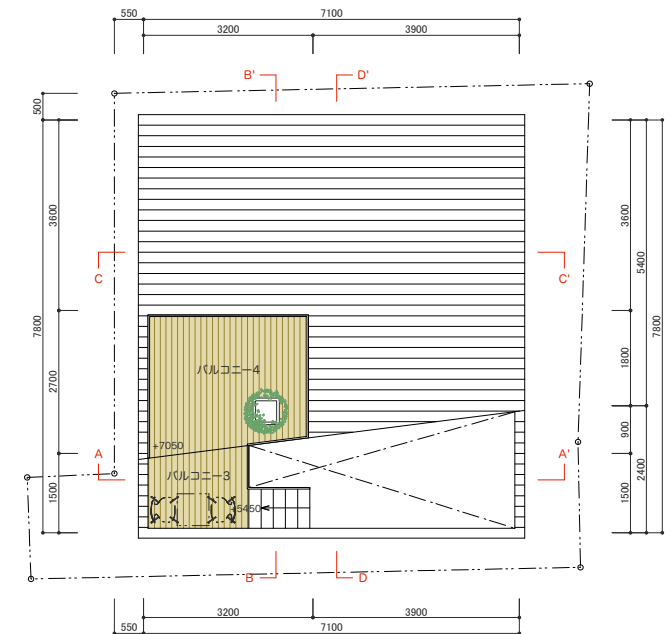
○フラワーアレンジメント教室を開設、2階を家族だけの場所にした場合

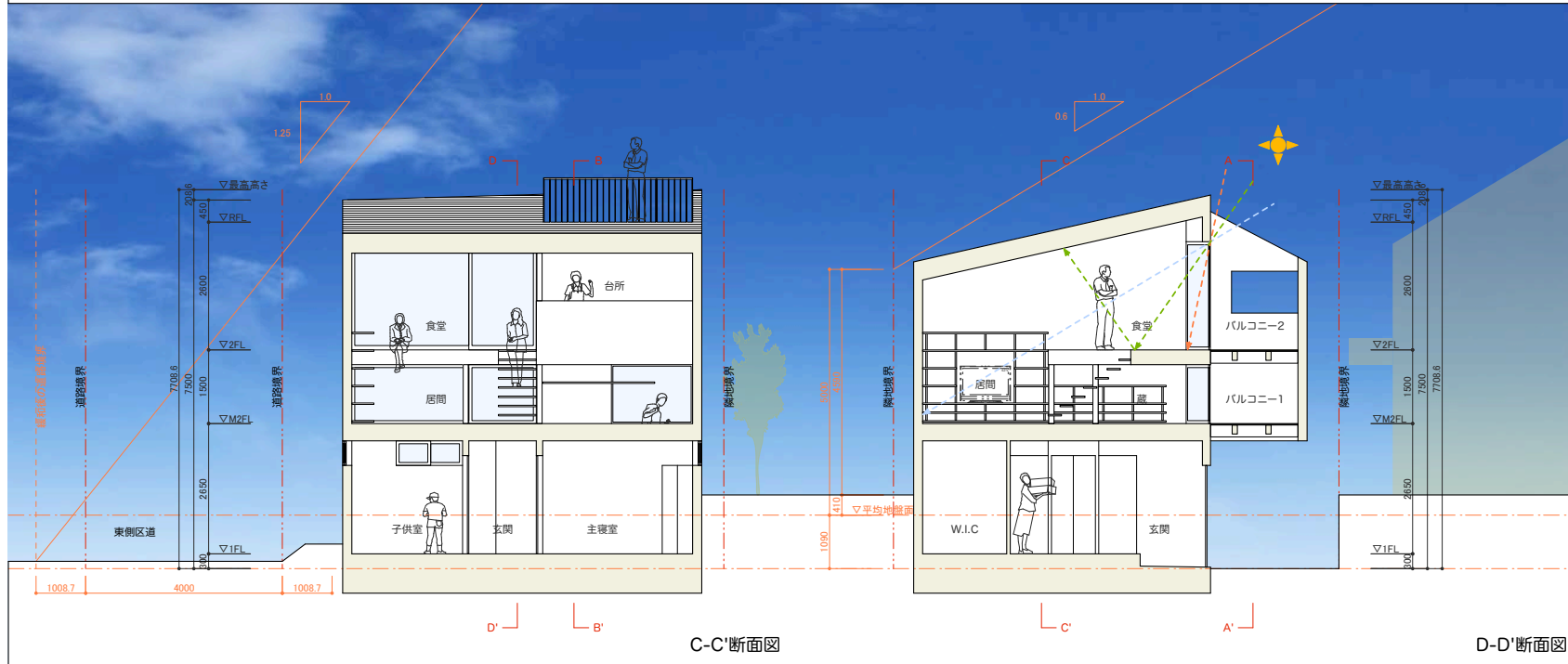
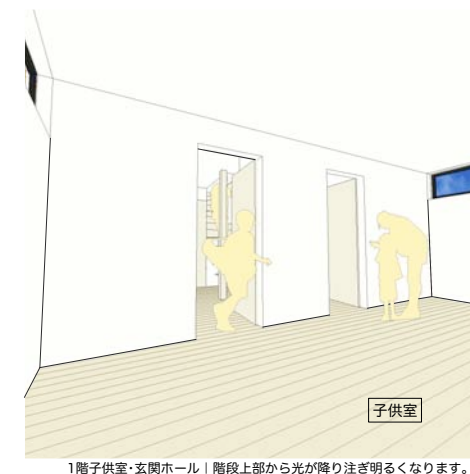
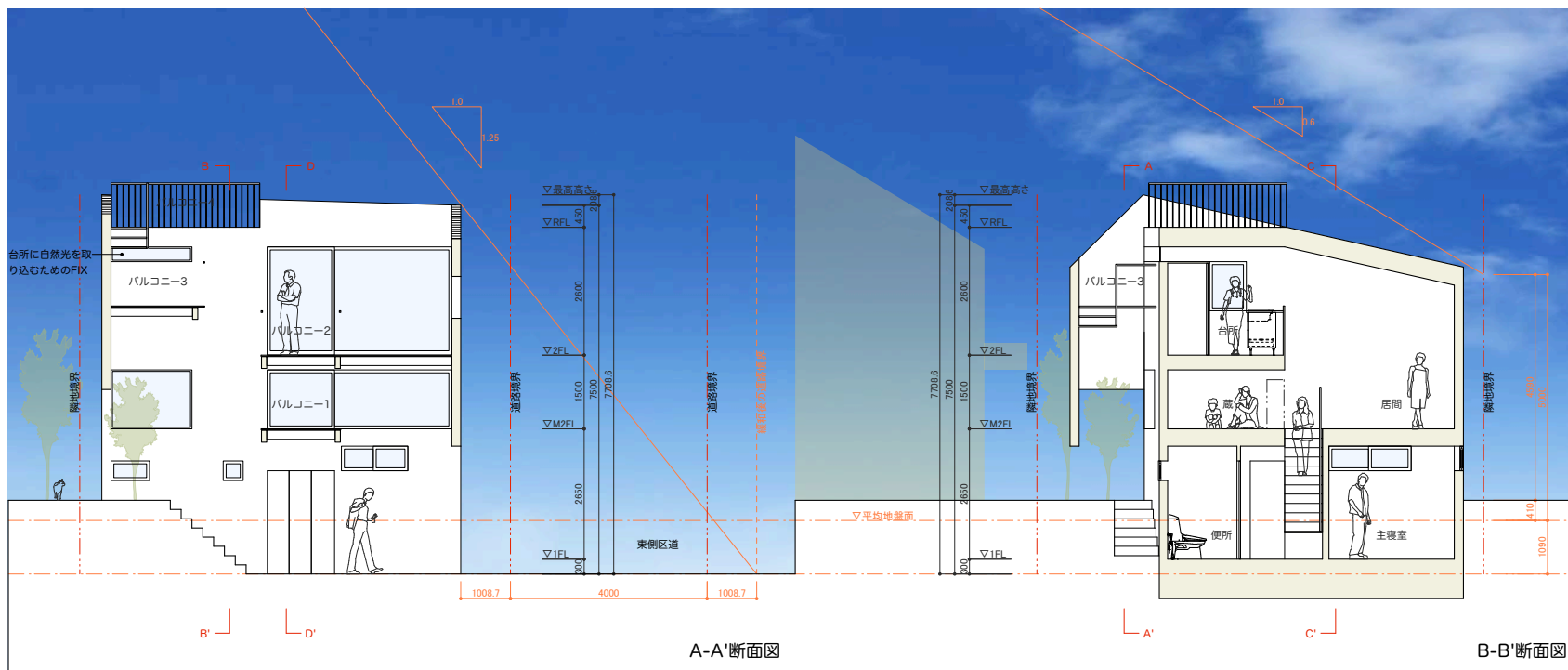


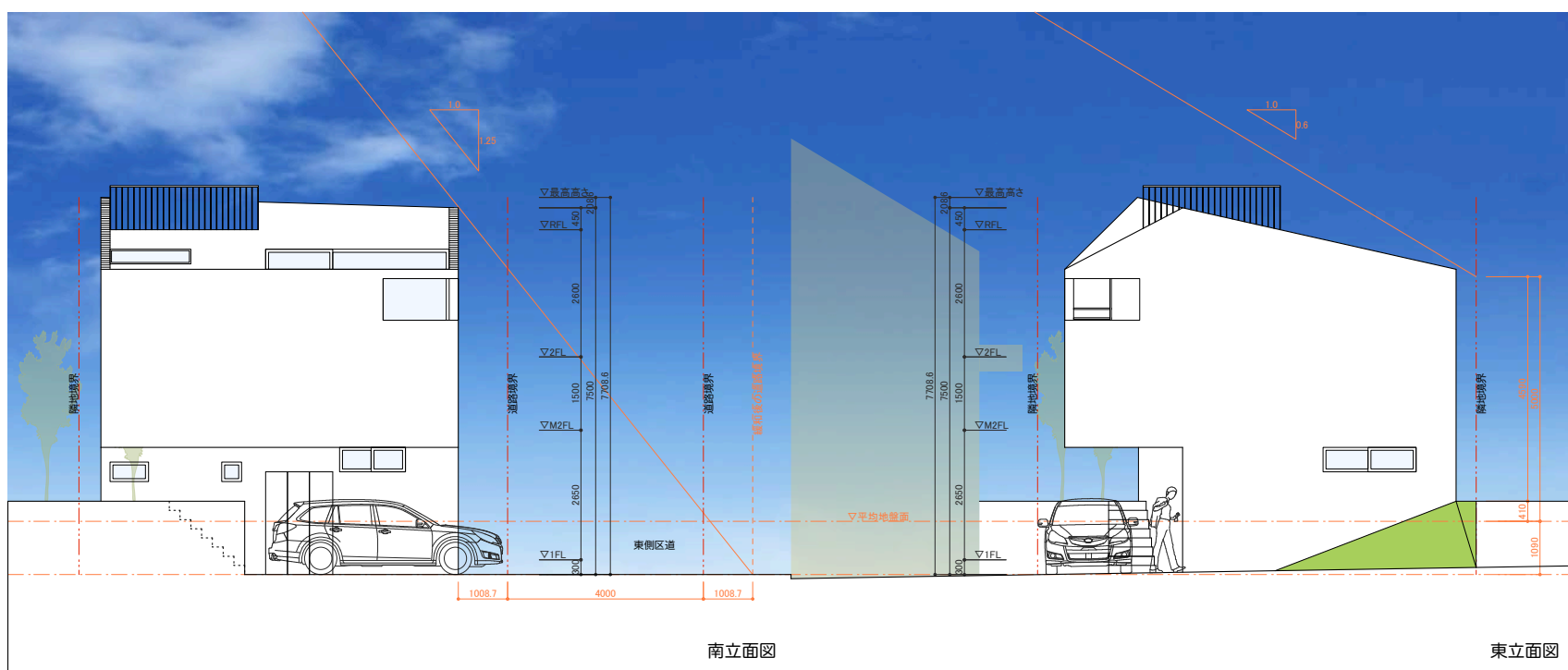


今回、考えたこと

- 1階について
 - 主寝室:11.34㎡(7帖)・子供室:13.33㎡(8.2帖)
L字型につながるように配置して、家族構成の変化にいつでも柔軟に対応できるようにしました。
 - 便所
水廻りのコンパクト化。1日で一番長い時間を過ごす寝室の近くに配置して上階のLDK空間を充実。
 - 浴室
パナソニック電工、ココチーノL-class1717サイズのユニットバスを採用。
- 中2階について
 - 居間:22.05㎡(13.6帖)
居間に隣接するように蔵を設け、ソファに座るとバルコニー1まで視線が抜けるようにして広がりを実現。
 - 蔵兼プレイルーム:19.49㎡(12.0帖)
家具やロールスクリーンなどを利用して収納スペースを確保。「収納」という単一機能の空間にせず、ライフサイクルに合わせて自由に使える空間。
例えば、収納の他に趣味の部屋、プレイルーム、就寝など。
 - バルコニー1
居間からの眺めやお客様への演出空間として観葉植物を並べることが可能。
- 2階について
 - 食堂:11.49㎡(7.1帖)
居間より1.5m高い所に設け、バルコニー2と連続した空間にすることで数字以上の広さを感じられる。台所とは同じフロアにして配膳は容易にできるよう配慮。
 - 台所:8.00㎡(4.9帖)
キッチンカウンター(トーヨーキッチンBAYシリーズ)の背面にキッチン家電類、食器、食品をしまうための壁面収納を設ける。普段は開けっ放しでも家事に支障がない引き違い戸を採用。
- 屋根について
 - バルコニー3、4
視線を遮る物が無い南西側にスペースを確保。3から4へははしごで登ります。

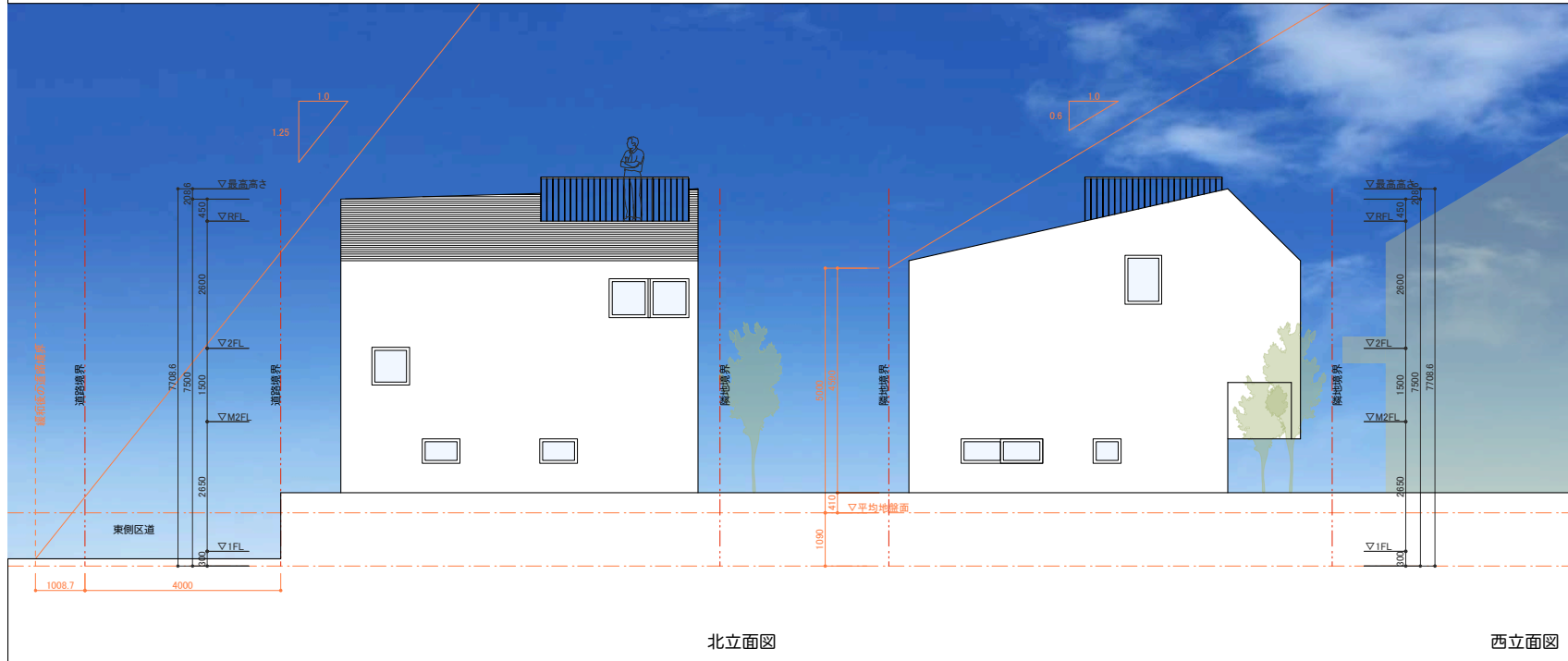






南立面図

東立面図

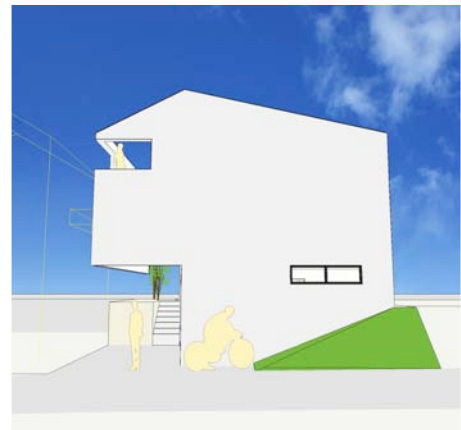


北立面図

西立面図



南東側建物全景 | 駐車場の上にバルコニーを設けます。



東側建物全景 | 前面道路側はプライバシー確保のため開口部を減らします。



北東側建物全景 | 駅前通りから来ると初めに見える我が家の後ろ姿です。



株式会社 五十嵐賢治建築設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第53210号
〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-25-9モナーク等々力304
国土交通省一級建築士 第268408号 五十嵐 賢治
tel/fax.03-3702-8557・e-mail.igaken@igarashikenji.com

project

東京都世田谷区T邸

scale
drawn by
date

A3:1/100
五十嵐
2010/03/20

title

立面図・外觀パース

sheet number

4